

ふれあい

ボランティアだより合併号

No. 122

令和5年2月

発行所

社会福祉法人

太子町社会福祉協議会

〒583-0991

大阪府南河内郡太子町春日963-1
太子町立総合福祉センター内

TEL 0721-98-1311

FAX 0721-98-2111

<http://www.taishi-syakyo.net>



～.～.～. 新年のごあいさつ .～.～.～



社会福祉法人
太子町社会福祉協議会
会長 田中 一勲

皆様におかれましては、令和5年の輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素は本会に対しまして温かいご支援、ご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、11月末に開幕したサッカーワールドカップで、太子町出身の前田大然選手が大活躍し、太子町としても非常に明るいニュースとなり、私たちに大きな感動を与えて頂きました。

そのほか、新型コロナの影響で中止されていたイベントなども徐々に再開されてきました。しかし、まだまだ身の周りに潜むウイルスを意識しながら、引き続き感染対策を講じての生活が必要となっております。

また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に端を発し、円安による燃料をはじめとする様々な物価が高騰するなど、日々の暮らしを圧迫する状況が続いており、経済的に困窮する世帯が増え、少子高齢化が一段と進み、ひとり暮らし世帯の増加、雇用形態の変化などから家族

や地域での生活様式が変化し、地域社会のつながりが希薄化する等、私たちの生活課題が更に複雑・多様化しております。

こうした中、改正社会福祉法に基づき、住民が抱える困難な問題をワンストップで受け止める「包括的な支援体制」の整備が進められています。これらの多様な福祉課題に対応していくには、日頃からのネットワークづくりが重要となり、誰もが地域社会の一員として生き生きと自立した生活を送ることが出来るよう、ともに協力し、ともに生きる地域社会である「地域共生社会の実現」の取り組みを更に推し進める必要があります。その為にも町行政をはじめ、各地区福祉委員会、ボランティア団体、各福祉団体、福祉施設等の関係機関とも連携を密にし、役職員が一丸となって、これからの地域福祉活動や各種福祉サービスの充実強化に努めて事業展開していきたいと思っておりますので、本年も引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、コロナ禍の一日も早い収束を願うとともに、皆さまにとりまして今年一年が明るく希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和5年の新年を迎えて



太子町長
田中 祐二

皆様におかれましては、令和5年の新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

太子町社会福祉協議会におかれましては、地域福祉の推進に、ご尽力頂いていることに深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症による影響により、私たちの身近な地域においても、経済的困窮や社会的孤立など住民が抱える課題は複雑・多様化しています。また、住民同士の関係においても希薄化しており、あらためて地域における人と人とのつながりと住民相互による助け合いが、より一層重要になっております。

そのような中、本町におきましては、太子町社会福祉協議会と連携・協力し、「みんなが支え合いつながるまち“たいし”すべての住民が安心していきいきと暮らせるまち」を基本理念とする「第3期地域福祉計画」と「活

動計画」を一体的に策定し、地域住民一人ひとりが自立しつつ、人と人が世代や分野を超えてつながる地域共生社会の実現に向けて、太子町社会福祉協議会とともに取り組んでおります。

さて、太子町ではデジタル技術を活用し、住民サービスの向上につなげるDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みを進めており、今年の1月18日からは住民票・印鑑登録証明書のコンビニエンスストアでの交付が可能となったほか、年度内には児童手当の現況届など25項目についてオンライン申請により役場に来て頂くことなく行政手続きができるようになります。また、SNSの一つであり社会インフラとして欠かすことの出来ないコミュニティツールである「LINE」を活用した情報配信・申請案内が2月から始まっております。ぜひ、ご登録いただき、ご活用をお願いいたします。

結びにあたりまして、今年こそはコロナ禍による鬱積とした空気が晴れ渡り、太子町社会福祉協議会のますますのご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

社協へのご支援ありがとうございます

令和4年9月～12月までの間に、社協へご寄付いただきました皆様

(単位:円)

寄付者芳名	金額	寄付者芳名	金額	寄付者芳名	金額
田中 寛一	10,000	岸本 邦雄	10,000	森田 妙子	10,000
上田 知明	10,000	浅 埜 アイ子	10,000	匿名	37,792
奥田 正己	10,000	堀内 詳生	10,000	傾聴ボランティア ビタミン	10,000
高山 寿八子	10,000	上の太子みかん園	10,000	匿名	5,000
久保 幹雄	10,000	大江 里美	10,000	(順不同・敬称略)	

車イス移動車『ふれあい号』貸し出し事業を実施しています(利用料無料)

太子町社協では、歩行が困難な高齢者・障がい者の方々を対象に『ふれあい号』車イス移動車(軽自動車)の貸し出しを行っています。

対象者 太子町に居住されていて、車イスを利用している為一般乗用車への移乗が困難な方

利用回数 1回につき3日まで(1ヶ月に2回まで)

申し込み 車両の空き状況を確認のうえ、貸出申請書に以下の書類を添付し利用の前日までに社協事務局までお申し込みください。

(添付書類) ①利用者(車イスを利用されている方)の現住所が確認できる書類の写し

②運転される方の運転免許証の写し

その他 運転者は、利用者の親族の方で、3年以上の運転経験をお持ちの方とさせていただきます。



※詳しくは、太子町社会福祉協議会事務局(☎98-1311)まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

赤い羽根共同募金へのご協力 ありがとうございました。

令和4年10月1日より皆様にご協力いただきました“赤い羽根共同募金”はおかげさまで下記の通りの募金を集めることができました。集まりました募金は、全額大阪府共同募金会へ送金させていただき、令和5年度に社会福祉協議会をはじめとした、府内の民間社会福祉事業に配分されます。

令和4年度 赤い羽根共同募金実績一覧

(単位：円)

町名	金額	町名	金額	町名	金額	町名	金額	種別	金額
向少路	22,500	新屋敷	10,250	栄町	10,000	永田	20,000	戸別募金計	765,650
中大道	19,000	西仲町	18,500	太子ヶ丘	50,000	西	10,000	学校募金計	67,606
内之町	13,500	東町	14,500	磯長台	35,400	佃	20,000	職域募金計	71,517
西之口	19,500	上之町	20,000	春日丘	9,000	下之町	10,000	募金箱計	21,397
昭和町	29,500	分田町	9,000	第3太子ヶ丘	10,000	いわき台	20,000	バッジ募金計	33,500
新昭和町	18,500	旭町	12,000	緑ヶ丘	12,500	畑	18,000		
伽山	22,000	平和町	22,500	陵西台	10,000	若葉	9,000		
太陽ヶ丘	28,500	北町	12,500	聖和台連合会	30,000	葵	7,500		
太井川町	15,000	北仲町	10,500	大 道	20,000	篤志家芳名 金額			
桜川自治会	13,500	寿町	12,500	後屋	42,500	上野 正和	5,000		
葉 室	34,500	赤坂町	11,500	東 條	27,000			合 計	959,670

夜間のウォーキングに“反射タスキ”をお役立てください！ ～ 安心・安全ウォーキング事業(反射タスキ配布(無償貸与)事業)～

太子町社会福祉協議会では、日頃より健康のために町内をウォーキングされている方々に“反射タスキ”を配布（無償貸与）し、着用していただくことにより、自身の交通安全と健康に役立てていただき、さらには安全で住みよい地域づくりを確立するための地域の自主的な防犯活動につながっていくことを目的に、安心・安全ウォーキング事業を実施しています。

《配布対象者》

太子町に居住されていて事業の趣旨に賛同し継続的に活動していただける方。

※貸出申込書の提出をお願いします。(但し、活動を中止したときはタスキを返却していただきます。)

《その他》

申込者が未成年の場合は、保護者の同意を必要とします。



詳しいことは、太子町社会福祉協議会事務局
(☎98-1311) までお問い合わせください。

にちじょうせいかつ じ りつ し えん じ ぎょう

日常生活自立支援事業 ～あなたの暮らしを守るサービスです～

(旧：地域福祉権利擁護事業)

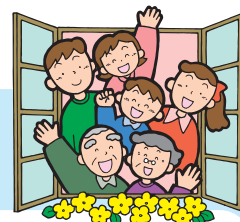
日常生活自立支援事業というむずかしい名前ですが、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方が、地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、日常的な金銭管理などの支援を社会福祉協議会が行います。

- 福祉のサービスが利用できない(福祉サービス利用に必要な手続きを行います)

- お金のやりとりで自信がない(福祉サービスの利用料を支払う手続きを行ったり、年金の振込みを確認したりします)
- 通帳の管理が心配(通帳や大切な書類をお預かりします)

詳しいことは、
太子町社会福祉協議会事務局
(☎98-1311) までお気軽に
お問い合わせください。





防災勉強会

いつ起きるかわからない災害に備えるために、令和4年12月3日(土)と4日(日)の2日間に渡って、町立総合福祉センターで防災勉強会を実施しました。この防災勉強会はコロナ禍でも開催できるよう、来たい時に来て帰りたいときに帰られる自由参加方式で行いました。内容は災害ボランティア活動のパネル展示、段ボールベッドや段ボール間仕切りなどの避難所体験、災害時に必要な備蓄品の展示、非常食体験などでした。ボランティアさんや消防分団の方々を含めると、2日間で延べ120人を超える方が参加されましたが、集まらない形式で行うことで密になることなく防災勉強会を実施することができました。



手をつなぐ親の会 管外研修

10月23日(日)手をつなぐ親の会で日帰り旅行に行ってきました！手をつなぐ親の会とは子どもの発達に関して気になることや不安を抱えていたり、療育手帳をお持ちのお子さんやその家族さんなどが、様々な行事を通じて交流し、不安や悩みを分かち合い、辛いこと悲しいこと、楽しいことや嬉しいことも共有できる場があればという思いから結成された会です。

今回は兵庫県の甲子園歴史館、atoa水族館を見学し、昼食のあとは南京町を散策しました。総勢42名の参加で、色々なものを見ていろんな事に触れながら家族同士のつながりが一層深まり、子どもにとっても家族にとっても楽しい一日になりました。

2月は保護者交流会を予定しています。詳しくは太子町社会福祉協議会までお電話ください。



ふれあいフリーマーケット

令和4年11月26日(土)、太子・和みの広場でふれあいフリーマーケットが3年ぶりに開催されました。出店申込の時点でキャンセル待ちが発生するなど、久々のイベントに多くの方々の期待が込められていました。当日は売り切れが出るなど、たくさんの方々が来場され大いににぎわいました。(詳細はボランティアだよりのページで紹介)



もち米の寄付を頂きました

町内でもち米を栽培している方から約90kgのもち米の寄付をいただきました。町内の社会福祉法人で配分して、それぞれの施設で年末年始の行事に使われました。



地域のふれあいの輪がひろがりました!

春日・聖和台地区 ふれあい広場

令和4年11月3日(木・祝)に松の木保育園で3年ぶりとなるふれあい広場が開催されました。10時のオープン前

から行列ができるほど、地域みなさんが心待ちにしていた様子で、たくさんの方々が楽しそうに交流を深めていました。特に食べものの提供があるイベントは長い間なかったためか、予定していた食数があっという間に売り切れてしまうほどの人気でした。イベントを通じて人と人がつながる、さらに「食」で深まる関係があることを改めて実感しました。来年はもっともっと交流が深まるような取り組みになるように今から準備を進めてきます!



太子・葉室地区ふれあい広場

令和4年11月5日(土)太子集会所において、太子・葉室地区福祉委員会主催の“ふれあい広場”が開催されました。

3年ぶりの開催だったこともあり、地域の方々がたくさん来場され、地区福祉委員さんが担当するフランクフルトやポップコーン、あてものなどお店も大賑わいとなりました。

また、会場周辺の交通整理には太子消防分団にご協力いただいたほか、飲み物の模擬店には老人クラブ和光会の皆さんに、子どもたちを対象とした紙芝居には、町内で活動されているお話ボランティア“みんなの手”の皆さんにもご協力をいただき、地区福祉委員さんやご協力いただいた関係者の皆さんと、来場された住民の方々と“ふれあいの輪”がさらに広がった一日となりました。

ふれあい広場へご協力いただいた皆さま、ご来場いただいた皆さまありがとうございました。



山田・畑地区 福祉委員会管外研修

11月11日(金)山田・畑地区福祉委員会で管外研修に行ってきました。新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの研修になりましたが15名の参加がありました。まずは堺市総合防災センターを訪れましたが、南海トラフ巨大地震などの大災害に備える為の設備や資料が充実し、備えについて改めて考えるきっかけになりました。その後は“さかい利品の杜(千利休茶の湯館と与謝野品子記念館)”を見学し、堺の偉人を通じて、堺の歴史と文化に触れることができました。昼食の後は、介護用品関連の常設展示がある南港ATCエイジレスセンターで、介護負担を軽減する最新の用品に驚き、研修を終えました。



春日・聖和台地区福祉委員会 と太子・葉室地区福祉委員会 の合同管外研修

令和4年11月12日に奈良県田原本町にある奈良県宮福祉パークで管外研修が行われました。最新の福祉機器に触れたり、腰痛体操を体験したりと自分自身の健康を守りつつ、必要な時には機器を利用して、快適な生活を送るためのヒントを学びました。昼食の後は秋の奈良市内に移動し、猿沢池に映る5重の塔を眺めたり、昔ながらの商店街を散策して歴史に触れる機会になりました。



太子町共同募金会からのお知らせ

地域歳末たすけあい運動へのご協力ありがとうございました

～ 令和4年度“地域歳末たすけあい運動”実績報告～

昨年12月1日より実施いたしました“地域歳末たすけあい運動”に温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

ご協力いただきました募金により実施しました“地域歳末たすけあい運動配分事業”は下記のとおり、町内福祉施設や各福祉団体への配分のほか、車いす移動車『ふれあい号』の維持費用、いきいきサロンや高齢者交流サロンへの支援、生活困窮者への支援などの歳末地域福祉推進活動へ配分させていただきました。

次年度繰越金については、全額大阪府共同募金会へ送金させていただき、次年度に配分を受け地域福祉活動や防災関係事業費等に充当させていただきます。



〔募金内訳〕		〔配分内訳〕			
戸別募金	904,882円	町内福祉施設へ	184,837円	歳末地域福祉推進活動	957,840円
篤志募金	659,292円	保育園児・幼稚園児へのプレゼント	41,277円	生活困窮者への支援	60,000円
太子・葉室地区	125,000円	施設入所者等へのお見舞品	143,560円	いきいきサロンへの支援	200,000円
春日・聖和台地区	160,000円	福祉団体等へ	350,000円	歳末友愛訪問活動	50,000円
山田・畑地区	160,000円	身体障害者福祉協議会	80,000円	高齢者交流サロンへの支援	143,440円
団体その他	140,931円	母子寡婦福祉会	80,000円	ボランティアセンターへの支援	120,000円
太子町外	60,000円	手をつなぐ親の会	80,000円	車イス移動車貸出事業	314,400円
募金箱	13,361円	和光会	80,000円	太子町高齢者介護家族のつどいへの支援	10,000円
		献血推進協議会	30,000円	太子町中途障がい者の会への支援	10,000円
				地域活性化事業	50,000円
				歳末たすけあい運動経費	21,279円
				次年度配分事業への繰越金	50,218円
募金合計	1,564,174円	配分合計	1,564,174円		

令和4年度 地域歳末たすけあい募金 戸別募金一覧

(単位：円)

町名	金額	町名	金額	町名	金額	町名	金額	町名	金額
向少路	22,500	桜川自治会	13,500	平和町	22,500	第3太子ヶ丘	10,000	佃	20,000
中大道	19,000	四季の街	10,000	北町	12,500	緑ヶ丘	12,500	下之町	10,000
内之町	14,000	葉室	34,500	北仲町	10,500	陵西台	10,000	いわき台	30,000
西之口	19,500	新屋敷	10,250	寿町	12,500	聖和台連合会	150,000	畑	18,000
昭和町	8,000	西仲町	18,500	赤坂町	11,500	大道路	30,000	若葉	8,500
新昭和町	18,500	東町	14,500	栄町	10,000	後屋	42,500	葵	7,500
伽山	22,000	上之町	20,000	太子ヶ丘	50,000	東條	27,000		
太陽ヶ丘	28,500	分田町	9,000	磯長台	36,632	永田	34,500		
太井川町	15,000	旭町	12,000	春日丘	9,000	西	10,000		

令和4年度 地域歳末たすけあい募金 篤志募金一覧

(単位：円)

篤志家芳名	募金額	篤志家芳名	募金額	篤志家芳名	募金額
植 木 道 代	5,000	田 中 美 幸	5,000	小 路 裕 紀	10,000
西 方 院	10,000	土 井 武 久	10,000	つついクリニック	10,000
立 岡 千 賀	5,000	角 田 清	10,000	川 西 佳 子	5,000
石 垣 正 之	10,000	京 谷 肇	10,000	藤 田 栄 子	5,000
奥 田 敏 彦	10,000	樋 口 邦 子	5,000	関 本 史 子	5,000
北 山 信 行	5,000	松 井 育 子	5,000	ボランティアグループさくらクラブ	5,000
山 村 一 彦	10,000	阪 本 喜久夫	5,000	ボランティアグループなでしこ会	5,000
澤 田 清	5,000	新 家 緑	5,000	ボランティアグループふきのとう	5,000
辻 宅 一 博	5,000	植 木 律 子	5,000	ボランティアグループあじさい会	5,000
仲 堅 正 幸	5,000	匿 名	5,000	ボランティアグループポテサラクラブ	5,000
吉 田 多美子	5,000	羽 田 妙 子	5,000	ボランティアグループおかえり	5,000
上 野 正 和	5,000	石 倉 正 勝	5,000	交 流 サ ロ ン 朝 子 庵	5,000
村 山 美佐子	5,000	川 村 文 月	5,000	大阪南農協太子支店	20,000
上 野 敏 一	10,000	仲 村 清 治	10,000	社会福祉施設連絡会職員一同	31,302
奥 田 隆	5,000	藤 田 博 誠	5,000	役 場 職 員 一 同	49,885
阪 上 久 子	5,000	伊 藤 勝 美	10,000	社 協 職 員 一 同	4,744
田 代 祝 子	5,000	山 本 節 子	5,000	観光・まちづくり協会職員一同	1,800
(有)好月堂 岩田輔斉	5,000	田 中 一 勲	20,000	大阪東部ヤクルト販売(株)	30,000
岩 田 順 子	5,000	株式会社 であい	5,000	一般社団法人 富田林医師会	30,000
池 田 美智子	5,000	上 田 長 一	10,000	生涯学習センター 太子の森募金箱	1,120
太子薬局 川村洋子	5,000	岡 田 順 一	5,000	大阪南農協太子支店募金箱	3,103
筒 井 敏 夫	5,000	上 田 克 治	5,000	大阪南農協営農センター募金箱	12
椿 元 成 佳	5,000	金 谷 和 美	10,000	大阪南農協太井川募金箱	2,451
椿 元 千 秋	5,000	小 路 義 弘	10,000	磯 長 郵 便 局 募 金 箱	633
春 日 薬 局	5,000	(有)松田紙工業 松田浩一	10,000	総合福祉センター 募金箱	4,242
仲 谷 佐多子	10,000	森 義 昌	5,000		
吉 田 美智子	5,000	林 光 寺	10,000		
松 井 史 郎	10,000	吉 田 弘 子	5,000		
松の木保育園	5,000	荒 瀬 宏 幸	10,000		
石 谷 俊 雄	10,000	田 中 美佐江	5,000		

順不同・敬称略

ご長寿 お祝い事業の お知らせ

太子町社会福祉協議会では、太子町に居住され、町会・自治会に加入（5年以上継続して加入）されている満90歳のお誕生日を迎えられた方に、ご長寿をお祝いしてお祝金（10,000円）を、また、満100歳のお誕生日を迎えられた方にはお祝金（30,000円）をお贈りしています。
該当される方は、太子町社会福祉協議会事務局

（☎98-1311）までお知らせください。

※お祝金の申請期限は、お誕生日を迎えられてから1年以内とさせていただきますのでご注意ください。



・ボランティアだより・

第38号

あけましておめでとうございます今年もよろしくお願いします

結縁祭と同時開催！

3年ぶりのふれあいフリーマーケット



11月26日(土)西方院さんの結縁祭と同日に太子・和みの広場で太子町ボランティアセンターによるふれあいフリーマーケットを開催しました。過去最大の37ブースの出店があり、たくさんの方が来場されました。太子町ボランティアグループによる豚汁やぜんざいのほか、近隣市町村の障がい者作業所さんからイノシシの肉を使ったコロッケやいろんな味のポップ

コーンに手作り弁当、パン、クッキー等、町内外からも多く食器や衣類や雑貨など出店があり、賑わいました。このふれあいフリーマーケットはまだ使えるものを持ち寄って、物を大切にリサイクルできたらという思いからSDG sの取り組みにも繋がるほか、ふれあいの場の活性化としても良い機会になったのではないかと感じています。

令和4年度 防災勉強会

12月3日、4日と町立総合福祉センターにて防災勉強会を実施しました。そのうちのひとつに“防災食づくりを考える勉強会”を太子町の各ボランティアグループのボランティアの方々にご協力いただき、防災食体験としてカセットコンロとお鍋ひとつで湯せんするだけで作れる簡単防災食として“焼き鳥ごはん”“そうめんヌードル”“蒸しパン”の3種類を実践しました。

耐熱性のポリエチレン袋に無洗米、分量の水、缶詰の焼鳥を半分、乾燥ひじきスプーン1杯入れて約30分間湯せんします。その後、鍋から引き揚げて10分間蒸らすだけで炊き込みごはんのような焼き鳥ひじきご飯が出来上がります。そうめんヌードルはそうめん25gを半分に折って、乾燥スープを半分ほど入れて湯せんたったの2分で出来あがり。蒸しパンは災害時、不安な思いをしている子どもが少しでも笑顔になればという想いからホットケーキミックスと水、油小さじ1で約20分湯せん。蒸さなくてもふっくらもちもちの蒸しパンが出来ます。お好みで砕いたチョコレートや甘納豆を入れると色んな味が楽しめます。

災害が起きたとき、非日常の生活が続くことに1番ストレスを感じます。そういうときこそ、普段から食べ慣れているものを作ることが心の安定に繋がるとボランティアさんが教えてくれました。



令和4年度 運転協力者講習会を実施

令和4年11月16日(水)・17日(木)の2日間、山田集会所において「令和4年度移動・送迎サービス運転協力者講習会」が開催され、7名の方々が受講されました。

この講習会は、受講生の方々に移動・送迎に関する知識と技術を学んでいただき、町内での運転ボランティアとして活躍して頂けたらと毎年開催されています。

今年度も、関西STS連絡会、NPO法人アクティブ

ネットワークより講師をお招きし、移動・移送の活動や道路交通法について、利用される方の心理についての講義、活動時の心構えやマナーについて、活動に必要な介助の方法、実際の車両を使っでの乗降・運転実技、車いす操作の実技など盛りだくさんの内容で講習を受けていただきました。



宙屋～SORAYA～

ボランティアグループ発足

昨年10月に新しくボランティアグループが立ち上がりました。その名も「宙屋～SORAYA～」。

普段は、福祉センター裏の多目的広場を活用して、不定期で199g以下のドローンの飛行訓練をしています。メンバーさんが各自で所有しているドローンの操作はとても難しく、悪戦苦闘しながら毎回楽しく集まっています。普段は楽しく活動していますが、災害が起きた時には屋根の状態や高所の被害状況を把握する活動も視野に入れています。約5年前に起きた大阪北部地震の際にはドローンで屋根の状況を見る支援者がいたほど、ドローンは安全に高所の確認ができます。普段は楽しく、災害時には安全に心を掛けながら活動しています。



大阪府市町村ボランティア連絡会 テーマ別研修会

12月20日(火)大阪府市町村ボランティア連絡会テーマ別研修会がありました。テーマは「ボランティア活動は魅せる時代！写真や言葉のチョイスなど、広報のイロハを徹底解説！」ということで、講師SUBAL氏による講演を新型コロナウイルス感染者が増えてきた頃でしたので、当日は福祉センターのPCを会場と繋いで、お話を伺いました。

SUBAL氏は元社会福祉協議会の職員で、地域包括支援センターやコミュニティソーシャルワーカー

などの経験を経て、言葉や文章だけではなく、写真や映像を通じて福祉を伝える実践者として活動されています。ボランティアの高齢化や衰退化など様々な課題に、今後の活動において広報の力を教わりました。



中学生の職業体験

令和4年11月9日(木)～10日(金)の2日間、太子中学校2年生の生徒さんたちが職業体験学習ということで太子町社会福祉協議会へ来てくれました！

1日目は赤い羽根の共同募金のことや車椅子体験、高齢者疑似体験のほか、福祉センターのお年寄りやつばき作業所の障がい者の方々との交流、午後からはボランティアさんの協力を受けて一緒に防災食づくりをしました。2日目は社会福祉協議会の職員から「福祉とは何か？」「なぜ社会福祉協議会で働いているのか」を話し、そのあとは中学生がサイコロを振って出た目のお題について語り合う時間を設けました。2日間という短い時間でしたが、地域

の方々と共に活動している社会福祉協議会のことについて、少しずつでも理解してもらえたら嬉しいです。



ボランティア体験プログラム

新型コロナウイルスの影響により2年間中止だったボランティア体験プログラム（社協独自の事業）を実施しました。プログラムの内容によっては中止になったものもありますが、8月4日(水)と8月24日(水)はボランティアグループ「さくらクラブ」の絵手紙メンバーに絵手紙の基本を教わりながら、絵手紙体験をしました。絵の上手・下手に関わらず、老若男女問わず、誰でも気軽に感謝やぬくもりを届けられるのが絵手紙の魅力です。コロナウイルス感染症拡大に伴い、積極的な呼び掛けができませんでしたが、15人の参加があり、楽しいひと時を過ごしました。

8月29日(月)はボランティア連絡会主催による防災食づくり体験を行いました。災害時、電気・ガス・水道などのライフラインが止まったとき、使える調理器具で保存の効く常温野菜などを利用し、どんな料理ができるかを考え、湯せんだけでカレーとバナナの蒸しパンを作ってみました。耐熱性のポリ袋にお米と分量の水を入れて30分湯せんするだけでご飯が炊けます。災害時にあったかいご飯が食べられることは不安な気持ちが少しでも和らぐのではないかと思います。参加された方から「ポリ袋でこんなに簡単に作れるなんて知らなかった」「自信になった」といった嬉しい感想を頂きました。



大阪府市町村ボランティア連絡会 河南ブロック交流会

11月24日(木)河南町にある大阪府近つ飛鳥博物館にて大阪府市町村ボランティア連絡会の河南ブロック交流会があり、今回は幹事の河南町よりボランティア活動の報告がありました。尚、河南町ボランティア連絡会は今年設立30周年だそうです。おめでとうございます。

その後、近つ飛鳥博物館の副館長兼学芸課長の廣瀬時習氏より2019年に世界遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群などの古墳時代についての講演がありました。河南町には歴史的に珍しいひょうたんの形をした双円墳の金山古墳がありますが、古墳について追及すればするほど色んな諸説が出てくるのもまた古墳の魅力で、河内の古墳時代を知ることができ、貴重なお話を聞けました。



ボランティアグループ紹介

傾聴ボランティアグループ「ビタミン」が令和4年6月に立ち上がりました。吹田傾聴「ほほえみ」の長谷川先生による傾聴ボランティア養成講座を受講後、活動に向けて日々、勉強をしています。傾聴とはお話し相手に耳・目・心で「聴く」ことで、時には元気づけたり、時には心のケアをすることもあります。人間誰しも不安や悩みを抱えて生きていて、ひとりでも多くの人の想いに寄り添い、話をしてくれた方の心が少しでも軽くなればと思っています。活動はまだ先になる予定ですが、詳しくは太子町ボランティアセンターまでお問合せください。



令和5年度 嘱託職員を募集します

太子町社会福祉協議会では、非常勤職員を募集します。詳しくは太子町社会福祉協議会ホームページをご参照ください。



★職 種 福祉資金貸付相談員

〈主な業務内容〉

生活福祉資金貸付事業における借受人に対する訪問面談等のフォローアップ業務

★定 員 1人

★勤 務 日 月～金 5日勤務

★勤務時間 9時～17時30分（1時間休憩あり）

★月 給

〈社会福祉士または介護支援専門員〉

226,000円

〈社会福祉主事任用資格〉

185,000円

★応募資格 社会福祉士・介護支援専門員・社会福祉主事任用資格のいずれかおよび普通自動車運転免許（AT 限定可）

★福利厚生等 社会保険加入・交通費支給・賞与2回／年

【申込書類】 履歴書（写真貼付）および応募資格要件の証明書の写しをご持参ください。

（厚生労働省履歴書様式 <https://www.mhlw.go.jp/content/11654000/000769665.pdf>）

【採用方法】 受付終了後、書面審査、面接などにより任用を決定します。面接日時は別途連絡します。

【申込期間】 令和5年2月1日（水）～令和5年2月17日（金）

9時から17時30分（土日祝は除く）

郵送・持参ともに2月17日（金）必着

【申込場所】 太子町社会福祉協議会（町立総合福祉センター内）

【面 接 日】 令和5年2月28日

【任用期間】 令和5年4月1日～令和6年3月31日

※勤務成績が良好な場合、更新あり。ただし、通算3年を限度とします。

【問い合わせ】

総合福祉センター内太子町社会福祉協議会（電話：98-1311）までお問合せください。

太子町生きがい人材センターでは、 令和5年度新規会員を募集しています

募集内容 おおむね60歳以上の方で、葉刈機・草刈機の使用、および高所作業の可能な方
※申込時に、健康診断書の提出をお願いします。
※普通自動車免許をお持ちの方。

募集期間 令和5年3月24日（金）まで
※土、日、祝日を除く午前9時から午後5時まで

申込方法 町立総合福祉センター内、太子町社会福祉協議会事務局までお越しください。
※所定の申込書に必要事項を記入していただきます。



心配ごと相談

・相談日 毎月10・25日
（但し、土曜日の場合前日）
（日曜日の場合翌日）

・相談員 民生委員児童委員・主任児童委員
社会福祉協議会職員
・相談時間 午後1時30分～3時
・場 所 太子町役場1階相談室

編集後記

“ふれあい”第122号をお届けします。

ふれあい120号から広報誌の担当が変わりました。見やすい紙面づくりを目指しますので、みなさんからの忌憚のないご意見をお待ちしております。

“皆様の声をお寄せ下さい”

TEL 98-1311 FAX 98-2111

この広報紙の発行には赤い羽根共同募金配分金の一部を活用しています。